

JICの活動の重点、今後の方向性

2024年7月16日

株式会社 産業革新投資機構
Japan Investment Corporation

JIC

- 株式会社 産業革新投資機構（JIC : Japan Investment Corporation）は、2018年9月、産業競争力強化法に基づき、オープンイノベーションを通じた産業競争力の強化と民間投資の拡大という政策目的の実現に寄与するべく、発足した投資会社。
- JICは、傘下のファンドや民間ファンドへの投資を通じて、政策的に意義のある事業分野へのリスクマネーを供給。

JICグループ



株式会社INCJ（設立:2018年9月）

既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足。
産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的とした投資活動を行う。



JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社（設立:2020年7月）

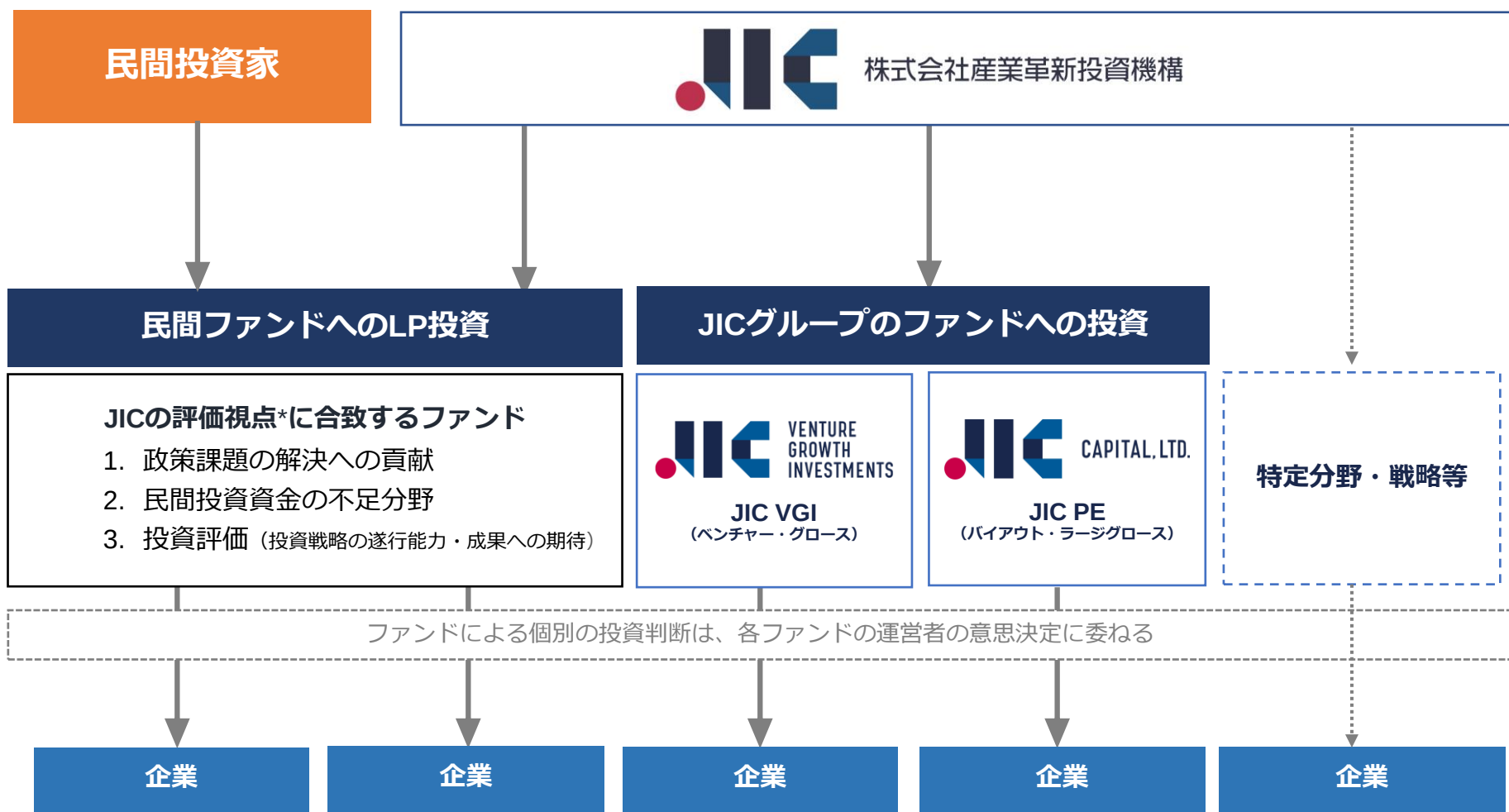
ベンチャー・グロース投資活動により我が国のイノベーションを促進し国際競争力の向上に寄与。産業及び社会課題の解決を目指す。



JIC キャピタル株式会社（設立:2020年9月）

Society5.0実現に向けた新産業の創造、国際競争力強化に向けた事業再編の促進、デジタルトランスフォーメーション（DX）促進をはじめとした次世代社会基盤の構築に向けたリスクマネー供給を担う。

- JIC本体は、原則、ファンドへの投資を行い、JICグループのJIC VGI、JIC Capitalが企業等に対する投資を行う体制。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

- 2019年12月の新体制発足以降、投資活動を行うための集中的な体制整備、組織の再構築を経て、投資活動を本格化。JICが、民間ファンド、グループ子会社2社（JIC VGI、JICC）が運用するファンドに対し、出資約束を行った実績は以下の通り。



民間のVC・PEファンド

ファンド数 : 38
出資約束総額 : 1,853億円

戦略	地域	ファンド数	出資約束額
VC	国内	25	873億円
	海外	11(*)	640億円
PE	国内	2	340億円



1号 : 1,200億円 (20年9月設定)
2号 : 2,000億円 (23年1月設定)
オポチュニティファンド : 400億円 (23年9月設定)



1号 : 2,000億円 (20年11月設定)
共同投資ファンド* : 9,000億円 (22年10月変更決定)

*共同投資ファンドについて、20年の設立時に比べ、国内市場で大型案件が増加傾向にあり、JICとして取り組む政策的意義のある案件が含まれ得ることに伴って、増額

*主として海外のスタートアップに投資するファンドは、以下の観点から政策的な意義を認め、投資している。
(2024年3月31日時点の為替レートで換算)
✓ 国内事業会社等のオープンイノベーションの促進
✓ 日本発の創薬シーズを海外のエコシステムを活用し事業化
✓ 国内 VC・スタートアップと海外 VC との連携強化

- 2023年度も政府の「スタートアップ育成5か年計画」を踏まえ、VC分野、PE分野の投資活動を推進。

1 投資活動

1. 民間ファンドへのLP出資

2023年度は、新規投資決定件数：10件（累計38件）、出資約束額：約356億円※（累計約1,853億円）。

※出資約束額は追加出資額を含む。

2. JIC VGIによる投資

2023年度は、新規投資件数：18件（累計67件）、投資額：約183億円※（累計約943億円）を実施。

9月には、JIC VGI オポチュニティファンド1号（400億円）を組成。新規投資件数：2件

※投資額は追加投資額を含む。

3. JICキャピタルによる投資

2023年度は、1件の投資案件の出資を完了、新たに2件の投資案件を公表。

2 エコシステムの醸成

- 国内VC、スタートアップと海外VCとの連携強化等を目的とした海外VCへの出資を推進。
- 投資先ファンドに対し、ファンド運営等に関する助言を行い、国内外の機関投資家から資金受託できるよう、継続支援。
- 国際競争力強化に繋がる事業再編や次世代技術開発に向けた支援。

3 組織・体制

- JICグループ全体として22名の役職員が入社。ファンド投資、調査活動の拡大等に伴い、投資関連部門の体制強化を推進。国内VC、スタートアップと海外VCとの連携機会創出等に取り組むための連携担当人材を新たに採用。

VC、スタートアップ分野

- ・ 「ディープテック」、「ライフサイエンス」、「プレシード・シード」、「グロース」、「ゴー・グローバル」等の分野を重点として継続支援。
 - ① JIC VGIはグロース投資を中心としつつ、ディープテック・ライフサイエンス領域を含む新産業育成に向けた投資活動を継続。累計67件の投資案件のうち 6月時点でIPOは5件。
 - ② 「ゴー・グローバル」支援として、グローバル・アクセラレーターに対する投資方針を策定。
グローバル市場の先端的知見、機能、プレーヤーの日本市場への導入・育成を目指す。
(6月時点：NEA、Vertex、Atomico、ANV、Headline Asia、Transpose/Y Combinator)

PE分野

- ・ JICCによるバイアウト・ラージグロース分野のPE投資を中心に、産業競争力の強化に貢献していく。
 - ・ JICCの主な投資案件：
 - ① JSRにおいては、完全子会社化を完了し、中長期的な成長戦略の立案を支援。
構造改革、業界再編を通じ、日本の半導体材料産業の国際的な競争力強化に繋げる。
 - ② 新光電気工業においては、先進半導体パッケージ分野の事業化を強力に支援し、
日本の半導体産業の国際的な競争力強化に貢献する。
- これらを着実に実行していくとともに、新たな案件の組成にも取り組んでいく。

- 2024年6月7日に産業競争力強化法の改正法が公布・施行され、JICの運用期限が2050年3月末までに延長。日本のスタートアップ及びプライベートエクイティを含めたリスクマネー供給に係るエコシステムの成長・発展に向けて、中長期的な視点で役割を果たしていく。例えば、宇宙などのディープテックやエネルギー関連などの成長・事業化までに時間を要する投資分野の支援やカーブアウト・ロールアップを通じた産業再編等の取組に一層注力していく。また、そのために対応が必要な組織的な体制整備等についても、検討を進める。

＜運用期限延長を受けた対応＞

①2050年を見据えた経営・組織運営、人材採用・育成、体制強化の推進

- ✓ 新たな分野への投資も踏まえた、質の高い人材の更なる確保。
(考えられる取組の例) 投資プロフェッショナル等の人材について、報酬体系も含めた待遇の見直し
- ✓ 事業の長期化を踏まえた、適切なガバナンスの確保、業務体制の整備。
(考えられる取組の例) 投資先のモニタリングの強化、ポートフォリオの適切な管理
人材育成の強化／更なる業務効率化・ナレッジ共有の仕組みの構築

②長期運営に向けた企業風土、文化の進化

- ✓ 投資活動を通じた、社内外におけるDE&Iを始めとする社会的取組の推進・発信。
(考えられる取組の例) 投資先選定・モニタリングにおける各視点の組み入れ
- ✓ 社内連携及び政府を含む社外との連携の更なる強化。
(考えられる取組の例) 社内外における人材交流の更なる推進

③グローバルな目線による、日本のエコシステムの成長支援

- ✓ 業界慣行の改善・業界全体の底上げ。
(考えられる取組の例) 海外VCとの連携強化等を通じたグローバル標準のプラクティスの浸透
ファンド投資を通じたグローバルな目線によるGP育成

DE&I推進を**JICグループの重要な経営戦略**と位置付け、その本格推進を打ち出したことを踏まえ、具体的な取組を開始。併せて、**ESGへの取組**も推進。

社内の取組

① DE&I推進委員会の立ち上げ

JICグループにおけるDE&I推進に関する取組案の審議・決定等を行う推進委員会を立ち上げ、取組の企画立案を行うDE&I推進チーム（JICグループの有志職員26名が参加）も始動。

② 行動規範改訂

DE & I推進を行動規範等に明示的に位置付け、役職員の人事目標設定に反映。

③ 社内研修

JICグループ全役職員を対象にLGBTQ研修を実施。

投資活動を通じた取組／普及啓発・発信

① PRI署名（2023年10月）

ESG投資推進の一環として、PRI（責任投資原則）に署名。

② 「環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する取組方針」策定（2023年10月）

本方針に沿って、投資プロセスにおけるESG視点の組み入れを進めていく。

※本年11月にESGや責任投資、PRIに関する社内研修を実施予定。

③ JICの投資先モニタリング・ヒアリング

国内の投資先VC（20社）にDE&Iに関する取組状況についてモニタリングを実施。現在、海外投資先へもヒアリングを実施。今後、定期的に行っていく。

④ 普及啓発・情報発信

「Women's Private Equity Summit APAC」や「日本プライベート・エクイティ協会年次総会」、「SuperReturn Asia 2023」等の国内外のイベントに当社幹部が出席。

DE&IやESGを考慮した経営・投資に取り組む投資先のインタビュー記事等をHPで公開。